



4/1 Hirado City Photo News 貴重な資源を活用した新商品



平戸市役所で、令和3年度に市の補助事業などを活用して開発された新商品の報告会が行われました。報告された新商品は、(有)マルイ水産商事の骨まで食べられる「炭火で焼いた塩あごレトルト」、しばやま水産の温めるだけでおいしい「天然真鯛の煮つけ」、ひかり水産の「鯛だし」の3品。報告会で、ひかり水産の西村光洋さんは「これまで廃棄されていた鯛のアラを有効活用できないかと思ひ開発した。うどんや鍋のだしとしてはもちろん、卵かけご飯に使うと絶品」と新商品を紹介しました。

3/26-27 Hirado City Photo News オープン10周年を記念して



田平町山内免の平戸瀬戸市場において、平成24年のオープンから10周年を記念して「平戸瀬戸市場10周年誕生祭」が行われました。紅白牛蒡餅のもちまきや数量限定のあら汁の振る舞い、平戸で養殖されているブランドマグロ「極海一番まぐろ」の解体ショーのほか、「究極のセリ市」と題し来場者参加型のセリが行われました。解体されたマグロや平戸牛をはじめとした高級食材がセリにかけられ、会場では値を付ける声が飛び交いました。

3/19-21 Hirado City Photo News オランダ街道を自転車で走破



平戸市国際交流員のパコ・セクレーブさんと長崎大学の留学生ベンテ・ファン・インゲンさん(ともにオランダ人)が、平戸と長崎を結ぶ「オランダ街道」111kmを3日間かけて自転車で走り抜きました。オランダ街道は、平戸和蘭商館跡と出島和蘭商館跡を結ぶ道で、日蘭交流400周年を記念し、2000年に命名されました。平戸和蘭商館跡が今年、国指定史跡100周年を迎えるにあたり、街道に再び注目してもらい、国際交流に力を入れている平戸市のPRになるようパコさんが企画しました。

3/19 Hirado City Photo News 思い出の園舎が閉所



志々伎町へき地保育所が、3月末をもって閉所しました。19日には卒園式が行われ、その後の閉所式では、卒園児やその保護者、関係者の皆さんが保育所との別れを惜しみました。平成16年4月に開所した、志々伎町へき地保育所は、これまで55人の園児が巣立ちましたが、近年は少子化や生活スタイルの変化などにより園児数が減少していました。閉所式では、卒園児を代表して平成28年卒園児の3人が保育所での思い出と感謝の言葉を述べました。

4/16 Hirado City Photo News がん患者や経験者の力に



根獅子町で、平戸アネモネ会主催のがん患者サポートチャリティーイベント「海辺を歩こう!アネモネウォーク」が開催されました。がん患者やがん経験者、その家族など約70人が参加し、根獅子海浜公園と人津久海水浴場を往復するコースを美しい海を見ながら楽しく歩きました。今年2月に発足した平戸アネモネ会は、がん患者やがん経験者などの相談・支援をはじめ、がんの早期発見・早期治療を促すための啓発活動などを行っています。

4/15 Hirado City Photo News 活動の成果を報告



平戸市役所で、平戸市地域おこし協力隊の活動報告会が開かれました。今回報告したのは、生月地区の和牛ヘルパーとして活動する小松洋輔隊員と紙漉の里の管理運営を支援している城若康太隊員の2人。日ごろの活動内容と令和3年度の成果、令和4年度の活動計画や将来のプランが発表されました。また、今年の4月に着任し、中部地区のまちづくり活動の支援を行っている齊藤三花隊員が紹介され、抱負を述べました。

3/28 Hirado City Photo News 「百菓繚乱」がお披露目



提供：西日本新聞社

平戸市役所市長室で、平戸商工会議所が市内の菓子製造業者と連携し、平戸藩松浦家に伝わる菓子図鑑「百菓之図」をモチーフにした新ブランド「平戸百菓繚乱」の立ち上げが報告されました。第1弾の今回は、「月明」(津乃上製菓)、「果の花」(つたや総本家)、「陽の恵」(菓子工房えしろ)、「鈴虫の夢」(牛蒡餅本舗熊屋)、「四季」(firando)の5品が発表されました。赤地に金色であしらわれた「百菓」が目目を引くパッケージで統一されており、各菓子店や平戸オランダ商館などで購入できます。

3/22 Hirado City Photo News 観光資源を地域の力に



平戸文化センターにおいて、「観光地域づくり(DMO)講演会～平戸観光の再生を目指して～」が開催されました。観光庁観光地域振興部観光資源課長である星明彦氏による講演では、日本の観光の現状や全国の観光地域づくりの事例などが紹介されました。その後、星氏、(一社)平戸観光協会の藤澤美好会長、黒田市長が登壇しパネルディスカッションが行われました。コロナ禍で停滞した平戸の観光について、熱い意見が交わされました。